

6361 - 61  
平成17年7月6日

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成17年度病害虫発生予察注意報第4号について  
平成17年度病害虫発生予察注意報第4号を発表したので送付します。

---

## 平成17年度病害虫発生予察注意報第4号

平成17年7月6日  
宮 崎 県

- |      |                        |
|------|------------------------|
| 病害虫名 | シルバーリーフコナジラミ及びトマト黄化葉巻病 |
| 作物名  | トマト、ミニトマト、中玉トマト        |
- 1 発生地域 県下全域
  - 2 発生時期 冬春トマト育苗期間及び本圃定植初期
  - 3 発生量 多
- #### 4 注意報の根拠
- 1) 宮崎市南部地域の4地点で行っている黄色粘着トラップを用いた誘殺数調査において各地点とも6月以降の誘殺数が急激に増加し(図1)、6月の総誘殺数も昨年の2.5倍程度多く誘殺されている。(図2)
  - 2) シルバーリーフコナジラミが媒介するトマト黄化葉巻病はトマトの生育初期に感染すると甚大な被害を生じるため、今後冬春トマトの育苗が盛んになるにつれ本病の発生が懸念される。
  - 3) 現在までの少雨はシルバーリーフコナジラミの増殖にとって好適であったと考えられる。また向う1ヶ月の天候も、平年と同様に晴れの日が多く、気温は高い、降水量は平年並みと予想されており、シルバーリーフコナジラミの増殖に好適であると考えられる。(鹿児島地方気象台 7月1日発表)
- #### 5 防除上の注意
- 1) 育苗期に感染すると被害が激しく全滅する場合もあるので、育苗ハウスには必ず開口部に目合い0.4mm以下の防虫ネットを設置する。ただしハウス内が通気不良により高温になるため、寒冷沙等の高温対策も併せて実施すること。  
また、作業中の人の出入りにより侵入することがあるので注意し、シルバーリーフコナジラミを誘引するので黄色の服の着用はできるだけ控えるようにする。
  - 2) 育苗ハウスに黄色粘着板を設置し密度の低下を図るとともに、シルバーリーフコナジラミの誘殺が確認された場合は、すぐに殺虫剤の散布を行い徹底的に駆除する。
  - 3) 育苗前にシルバーリーフコナジラミの増殖源となる周辺の雑草は除草する。

4) 育苗初期からシルバーリーフコナジラミ防除を徹底し、定植時にも粒剤処理を行って、定植初期の防除を徹底する。

5) 近年シルバーリーフコナジラミに対する薬剤感受性の低下が著しいため、同系統の薬剤を連用しないようにする。

また効果のある薬剤等その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、総合農業試験場生物環境部、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努める。

《連絡先》  
 病害虫防除・肥料検査センター  
 松浦  
 TEL：0985-73-6670  
 Fax：0985-73-7499  
 E-mail：matsuura-akira@pref.miyazaki.lg.jp

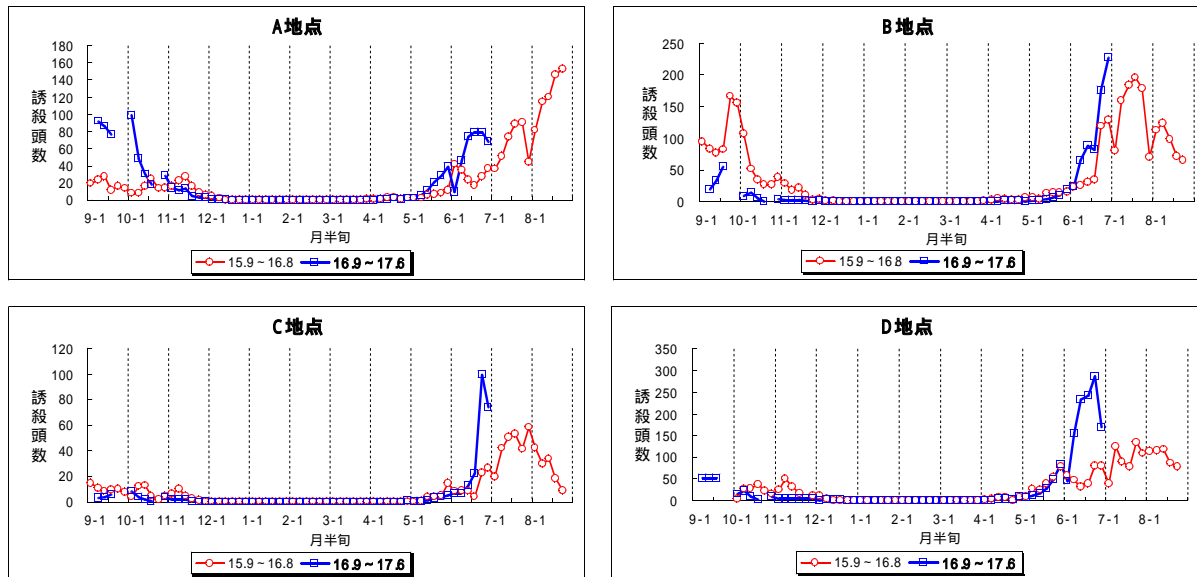


図1．各調査地点におけるシルバーリーフコナジラミの野外での誘殺数  
 調査は促成トマト栽培ハウスの周囲に黄色粘着板を設置して行った。

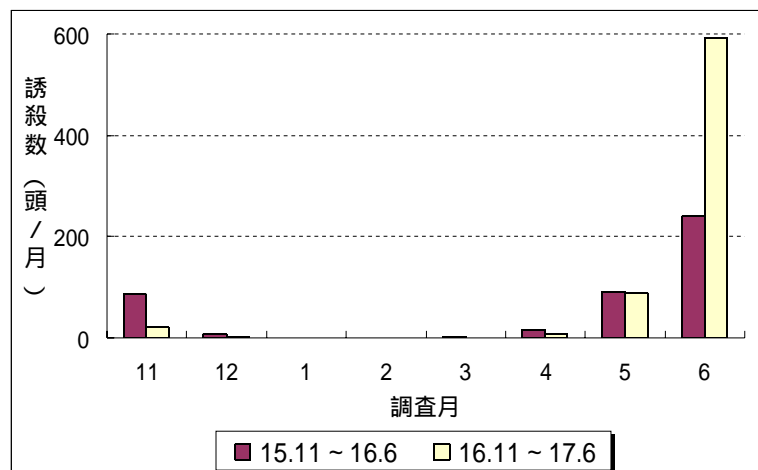


図2．シルバーリーフコナジラミの月毎の誘殺数の推移(4地点平均)